

ゴボウ用除草機取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

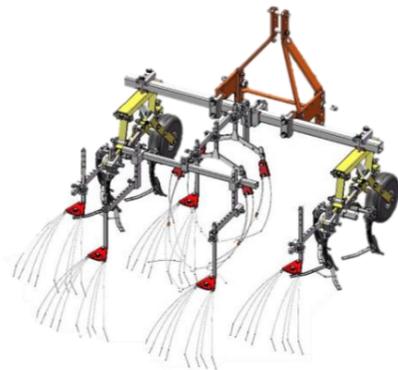
お読みになった後も必ずわかるところに保管し、いつでも読めるようにして下さい。



S3カルチ仕様(オリジナル品)

北海道型式	都府県型式
H016-2BHA	P016-2BHA

目次	
必ず読む	
はじめに	P. 2
安全に作業するために	P. 3
トラクタへの装着方法	P. 4
使用方法	
調整箇所	P. 5
オプションの紹介	
ウルトラQ	P. 7
碎土クラッシャー	P. 9
もぐらディスク	P. 10
草カッターW	P. 11
2本爪追加セット	P. 11



S3カルチ仕様(フルセット品)

北海道型式	都府県型式
H016-2DHA	P016-2DHA



GLカルチ仕様(オリジナル品)

北海道型式	都府県型式
H016-2EHA	P016-2EHA



説明書QRコードとなっています。ゆくゆくはペーパーレス化を目指していますので、ご協力よろしくおねがいします。

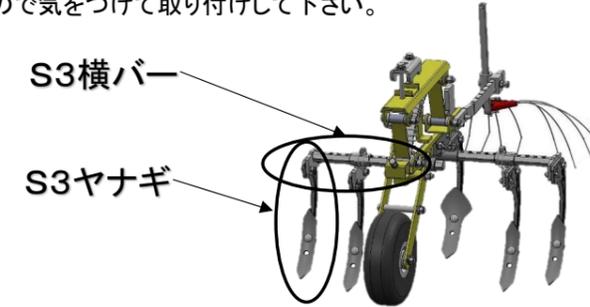
使用方法

防除通路や条間が広い際に、標準の3本爪のままだと隙間が多くなり、草が残ったり、うまく中耕できない時に、爪を追加し間隔を狭くして使います。

取付位置

【S3カルチ仕様】

S3横バーをカルチ本体から外し、S3横バーからS3ヤナギを取り外します。追加用のS3横バーにS3ヤナギを取り付けS3カルチ本体に挿し込みます。この時左右があるので気をつけて取り付けして下さい。



【GLカルチ仕様】

GL1下プレートに2本爪追加セットをボルトで取り付けます。



注意事項

圃場に合わせ、S3横バーやGL四角バースライドチャックで、間隔の調整をして下さい。

注意事項・商品発送についてのお願い

弊社製品には、条間が必要な製品もありますので、必ず播種(移植)の条間寸法をお知らせ下さい。商品の発送は、すべて北海道からの出荷となります。出荷製品の多くは、分解してダンボール梱包となります。ダンボール梱包製品に関しては、佐川急便・日本郵便にて発送を行います。同一製品であっても、佐川急便・日本郵便の両方で送る場合もありますので、その場合は、1~2日程度の到着誤差が生じますので、あらかじめご了承下さい。パレット梱包製品に関しては、その都度、運送会社に依頼しますので、製品到着までは2~3週間程度かかりますので、お早めにご依頼下さい。

あなたの「あったらいいな」を“カタチ”にします。



本 社 北海道足寄郡足寄町旭町5丁目71-1
TEL(0156)25-5806 FAX(0156)25-6121

はじめに

この取扱説明書は本製品の正しい取扱方法と、簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただき十分に理解され、お買い上げ製品が十分な性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をすすめるためにこの冊子をご活用下さい。

また、お読みになった後も必ずわかる所に保存し、いつでも読めるようにして下さい。

なお、性能向上等により使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

警告について

本書に記載した注意事項は、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守って下さい。

◆注意表示について

危険 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

警告 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

注意 注意事項を守らないと、ケガを負うおそれのあるものを示します。

使用目的



本製品は畑作物の中耕を目的とした製品となります。

使用目的以外の作業や改造は絶対にしないで下さい。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象にはなりませんのでご注意下さい。

公道走行について

本機を取り付けたままの公道走行は禁止です。

公道を走行する時は、トラクタ等から本機を外して走行して下さい。

安全に作業するために



◆機械を安全に使用するために、次の事項は必ず守って下さい。

事故防止のため、長袖長ズボンの作業着を着用し、保護帽、安全靴、手袋等の保護具を身につけて作業を行って下さい。

ネジ部は作業前、作業後には必ず点検し、ネジの締め付けなどの点検を行って下さい。

トラクタ等の着脱の際は、トラクタ等に記載されている説明書の注意事項を守って脱着作業を行って下さい。

点検・調整・整備・掃除・注油をする時は、トラクタ等に装着している場合、トラクタのエンジンを必ず止め、平坦な安全な場所で作業を行って下さい。

作業をする時は安全のため、周囲3～5mに人がいない事を確認のうえ作業を行って下さい。

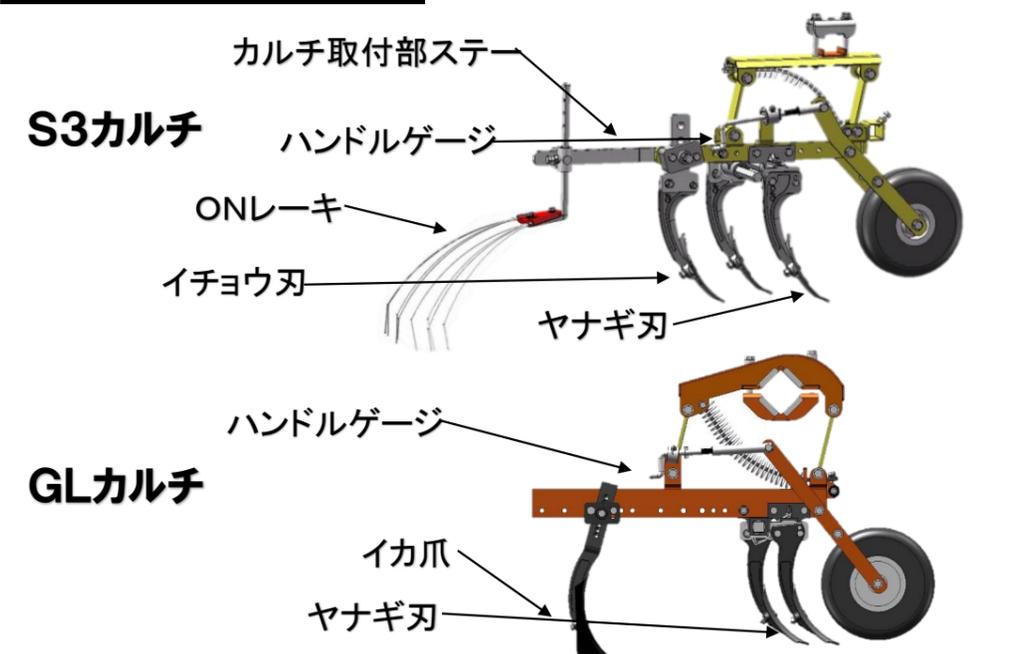
連続作業は、疲労のため事故の原因となります。1時間以上の連続作業は行わないで下さい。

部品は必ずメーカー指定の純正部品を使用して下さい。

この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象として作成しています。日本語が母国語でない方が本製品を使用する場合は、必ず日本語がわかる方が安全指導を行って下さい。

本書記載事項以外についても、安全には細心の注意をはらって下さい。

各部名称



※詳しい詳細はパーツリストにて

トラクタへの装着方法



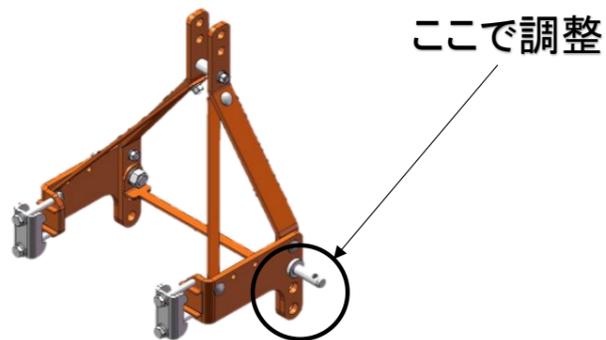
取付の際は安全の為に保護具を装着の上、取付は必ず危険のない平坦な場所で作業して下さい。

◆トラクタへの装着方法(本体部)

【S3カルチ仕様の場合】

- ①3点ヒッチMのロアリンクピンにトラクタロアリンクを取付し、リンチピンで止めて下さい。
※3点ヒッチMのリンチピンの高さは、取付するトラクタの昇降限度に合わせて3段階設定ができます。トラクタによっては、油圧を降ろした時に下まで下がりきらない場合があります。(3点ヒッチMの場合に限る。)

3点ヒッチGLはリンチピンの高さ調整をする部分が無いのでそのまま取付して下さい。

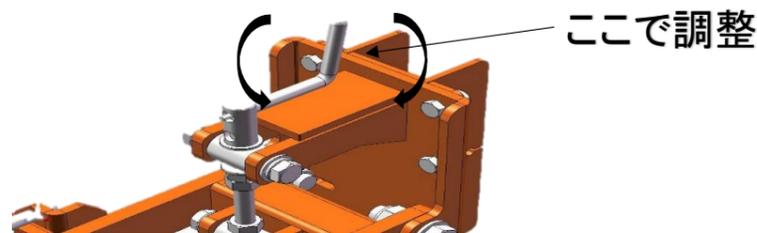


②トップリンクを調整

トップリンクの長さは、フレームが水平になるように長さを調整して下さい。

③その他角度調整出来るヒッチの場合

弊社の一部ヒッチは、トップリンク機能と同等の角度を調整出来るハンドルが装備されています。作業機がフレームに対して水平になるようにハンドルで調整して下さい。



※作業機がついたまま、油圧を上げた状態でハンドルを回すことは出来ません。地面に作業機が着いている状態でハンドルを回して下さい。

【GLカルチ仕様の場合】

- ①3点ヒッチGLのロアリンクピンにトラクタロアリンクを取付し、リンチピンで止めて下さい。
※オプションでカテゴリ2もありますので確認して下さい。

②トップリンクを調整

トップリンクの長さは、フレームが水平になるように長さを調整して下さい。

調整箇所

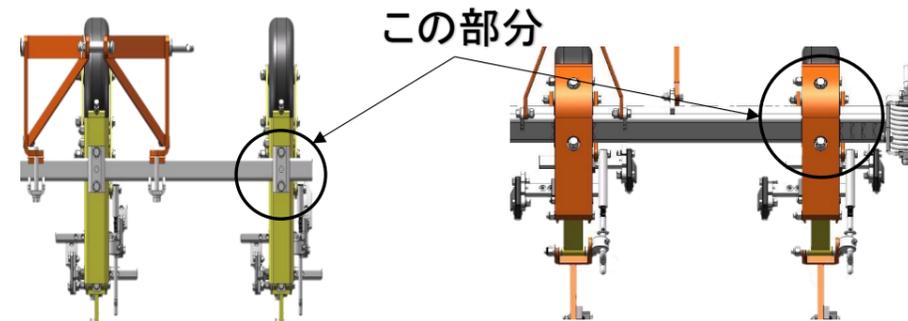
圃場、条件に合わせて調整箇所があります。

- ①フレームが水平になるように調整します。トラクタ(乗用形管理機等)側の油圧を降ろし2~3m前進する。そこでトップリンク又は調整ハンドルでフレームが水平になるように最終調整して下さい。

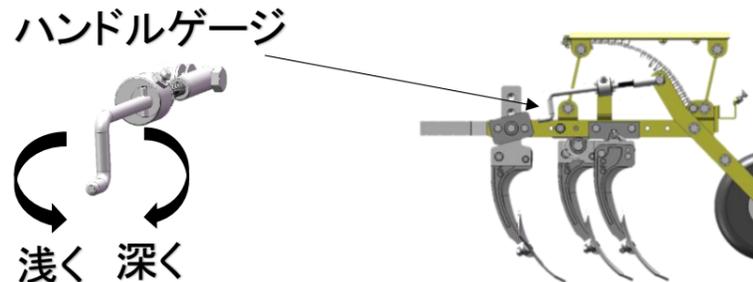


※GLカルチ仕様も同じ調整方法となります。

- ②カルチ幅の調整をします。作物の違いや圃場条件の違いで実際の条間と違う場合があります。その時はボルトを緩め実際の圃場の条間にカルチを調整して下さい。

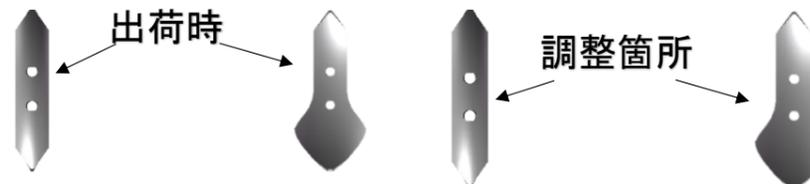


- ③ハンドルゲージで3本の爪の深さの調整をします。ハンドルゲージを左右に回すことでタイヤが上下し、爪の深さを調整することが可能です。爪の深さは5~8cm程度(ヤナギ刃を止めているネジ廻り)の深さで使用して下さい。



※GLカルチ仕様も同じ調整方法となります。

- ④ヤナギ刃・イチョウ刃共に穴が2つ開いています。基本的には出荷時のままお使い下さい。深く刺さり負荷がかかる場合や、土が動き過ぎると感じる時には穴位置を変えてお使い下さい。



※GLカルチ仕様のイカ爪は調整の穴は空いていません。

⑤S3カルチ仕様の場合

イチョウ刃を取り付けているS3ヤナギ取付板で、高さの調整を出来るようになっています。基本的には出荷時のままお使い下さい。刺さり過ぎたり、土が動き過ぎると感じた時には、高さを調整してお使い下さい。深く刺すと、ボルトの付け根に負荷が掛かり折れる場合があるので、注意して使用して下さい。

GLカルチ仕様の場合

イカ爪を取り付けている深耕爪取付ブラケットで、高さを調整できるようになっています。基本的には出荷時のままお使い下さい。刺さり過ぎたり、土が動き過ぎると感じた時には、高さを調整してお使い下さい。

S3ヤナギ取付板

深耕爪取付ブラケット

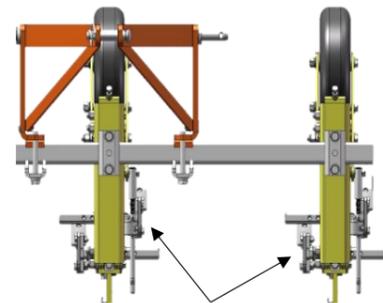
負荷がかかりやすい場所

爪はひっくり返して使うことが出来ます。爪先が減ってきた時や、使用目的に合わせて組み替えて使用して下さい。

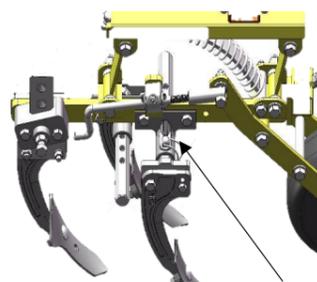
⑥条間(通路)の広さによってヤナギ刃の幅の調整をします。

ヤナギ刃は、S3ロックピンを外し横バーをスライドさせ、S3ロックピンを戻すことで調整が出来ます。

例として作物が小さいときは幅を広く、作物が大きくなってからは幅を狭く防除通路が狭い場合は幅を狭くする、広い場合は幅を広げるなどの変更して下さい。



ヤナギ刃



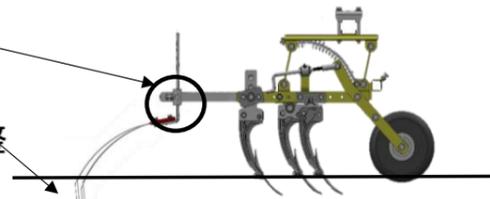
S3ロックピン

※GLカルチ仕様の場合も同じ調整方法となります。

⑦ONレーキの深さ調整をします。深く刺しすぎると土を抱き込み、うまく除草できなくなります。ONレーキの先端が3~5cm地面に刺さるように調整して下さい。(都府県仕様のみ)

ここで深さの調整

3~5cmの深さに調整



※S3カルチ仕様のみ標準装備となっています。

GLカルチ使用にも取り付けは可能となっています。取り付けする際は、カルチ取付部ステーONレーキが必要になります。

ONレーキセット

北海道型式	都府県型式
HU-ON-2	PU-ON-2

注意事項

本製品は非常に重量があるので、下に潜って作業をする場合には十分に注意して作業して下さい。

作業スピードは2~10kmの範囲で可能ですが、速度が早い場合ハンドルブレが生じやすくなります。その場合は2~4kmの範囲で作業して下さい。

スピードが遅い場合、土塊が多く残り除草効果が損なわれる場合があるので注意して下さい。

先端がとがっているため、調整や作業を行う場合は十分に気をつけて作業して下さい。

振動でボルトが緩みやすくなります。

作業を行う前には、しっかりとボルトが固定されていることを確認して下さい。

オプションの紹介

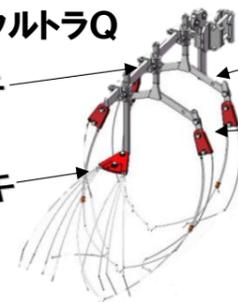
【製品名】ウルトラQ

L型ヒッチ

Cレーキ

Bレーキ

ONレーキ



北海道型式	都府県型式
H024-1A(1条)	P024-1A(1条)

使用方法

本製品(ウルトラQ)は、作物の生育状況に応じてレーキの種類を変えながら、株間の除草を行います。ウルトラQは、土を動かすことにより草の除草、抑制を行います。よって初期除草 ※1から使うものであり、草が大きくなった状態には対応していません。粘土質には使用不可です。

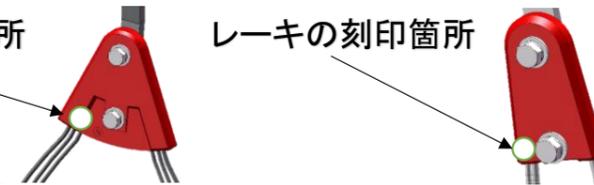
※1作物やその年の天候によっても異なりますが、播種の場合播種後約1ヶ月~1ヶ月半

レーキの組合せ順としてはトラクタ側から順にCレーキ+Bレーキ+ONレーキ

これらの組合せは、圃場条件によっては変わることがあります。レーキの種類は赤いプラスチック部の右下の辺りに表記しています。

レーキの刻印箇所

レーキの刻印箇所



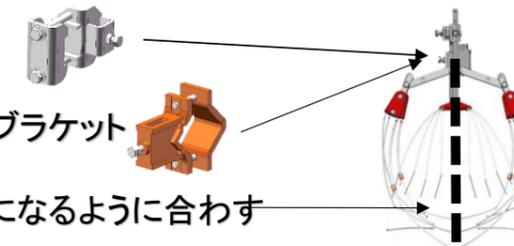
レーキの調整方法

①レーキの真ん中に作物が来るように、ブラケットDをスライドさせ位置を合わせます。作物が真ん中にある場合、レーキで作物を引き抜きやすくなり、欠株の原因となります。GLカルチ仕様の場合は、カルチジョイントブラケットをスライドさせて調整します。

ブラケットD

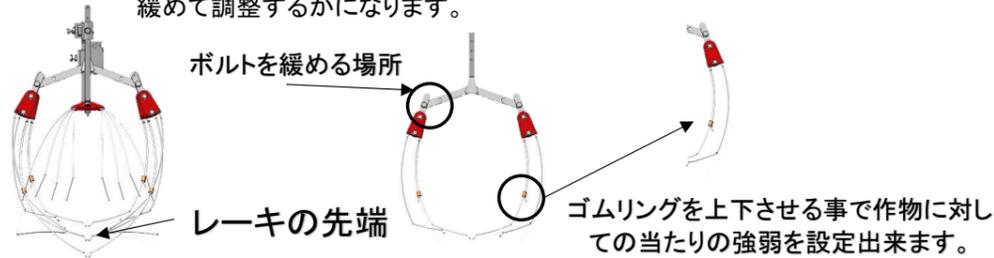
カルチジョイントブラケット

作物が真ん中になるように合わせ

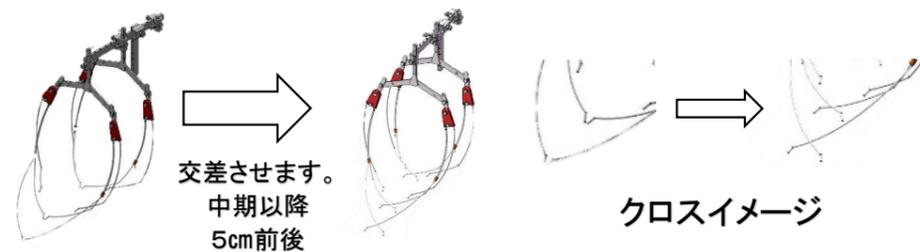


②作物の生育状況と雑草の大きさを参考に、レーキの先端の調整を行います。

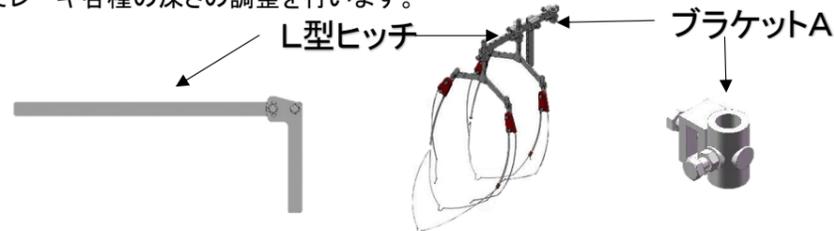
生育初期：根は活着し始めていますが、すぐ抜けやすく欠株防止の為、レーキの先端の交差幅を少なめに調整します。その際の調整方法は手で力を加えクロスさせるか、ボルトを緩めて調整するかになります。



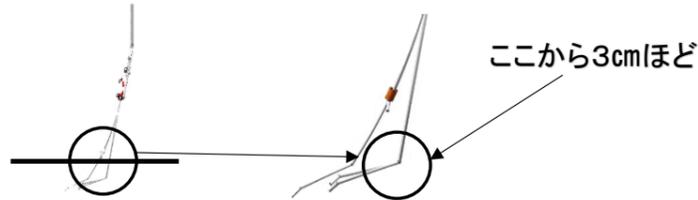
生育中期以降：ONレーキを外します。根は完全に活着していますので、レーキの先端の交差幅を5cm前後にクロスさせてください。そうすることにより、除草効果が上がり株間・条間の除草が有効になります。



③レーキの深さの調整を行います。L型ヒッチの部分で全体調整を行うか、ブラケットAでレーキ各種の深さの調整を行います。

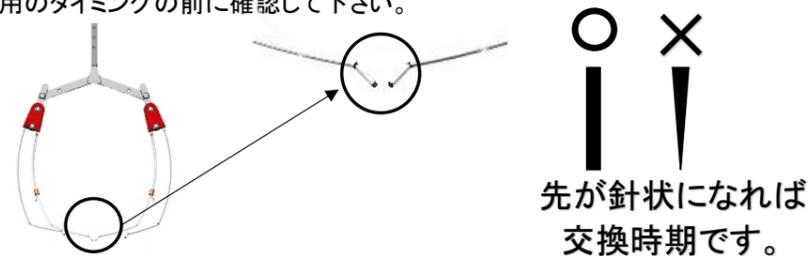


その時深さの目安として、レーキ先端側の曲がり部分が地面に3cmほど刺さるように押し込みます。この刺さりがないと、除草作業を行った時にレーキが表面に浮き上がり、地面のうえを這うような形になります。そのような状態になると除草作業は行われず、作物の葉や茎を痛め、欠株や生育不良の原因となりますので注意して下さい。



④部品交換のタイミング

レーキの先端部分が減ると除草効果が低下します。土質により消耗頻度が異なりますので、使用のタイミングの前に確認して下さい。



※GLカルチ仕様の場合も同じ調整方法になります。

注意事項

前提として畝立て・植え付けが真っ直ぐであることを想定しています。真っ直ぐで無ければ無いほど、トラクタ(乗用管理機等)で作業した時にハンドルを切る機会が増え、作物に負担がかかり、欠株や作物の損傷に繋がります。その際、作物に関する保証やクレームは一切受け付けませんのでご了承下さい。

使用回数・頻度としては、1回目の除草作業から約1週間感覚で、更に2回程作業することをおすすめします。

除草をする日は、土が乾いて天気の良い朝からの作業をおすすめします。除草機により引き抜いた雑草を乾燥させ退治することが出来ます。

レーキは前進方向に力が逃げるように設計されているため、油圧を降ろした状態(レーキが地面に刺さった状態)でバックすると、折れやすくなっていますのでお気をつけ下さい。

先端がとがっているので、調整や除草作業をする際は十分に気をつけて作業を行って下さい。

振動でボルトが緩みやすくなります。作業を行う前にはしっかりとボルトが固定されていることを確認し、付属のRピンで落下防止をするなどの対策をして下さい。

稲わらまたは雑草が多い圃場では、レーキ部分に稲わらや雑草が引っかかり、作物を一緒に引っ張ってしまう恐れがあります。その時はレーキを広げたり、レーキの種類を変える。またはウルトラQを外して使うなどして下さい。

稲わらや稲株が多い圃場では、天地返しなどの作業をすることをおすすめします。

雑草が多い場合は、そうなる前に早めの除草を心がけましょう。

【製品名】砕土クラッシャー



北海道型式	都府県型式
H028-1I(1条)	P028-1I(1条)

使用方法

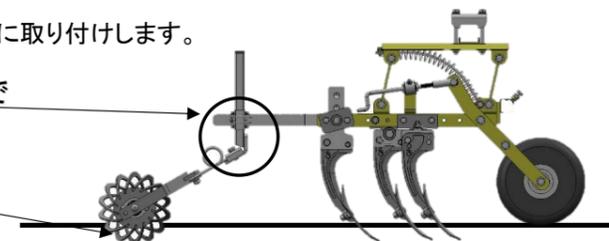
カルチで中耕した際に出てきた土塊を砕くために使用します。通常の砕土クラッシャーは33cmですが、ゴボウは条間が広いので50cm使用の物となります。カルチ1条につきクラッシャーが1つ必要になるため、必要な個数注文して下さい。

取付位置

カルチ後方のカルチ取付部ステーに取り付けします。

パイプロックピンを外すことで
高さの変更が出来ます

1~3cm程度埋まる位



注意事項

砕土クラッシャーの取付位置を深く設定してしまうと、ゴロの中に土が溜まってしまいます。土が溜まるとゴロが回転しなくなり効果を発揮しなくなるので、注意しながら使用して下さい。

部品交換のタイミングは、ゴロを回す部分にベアリングを使用しているため、使用年数・頻度に関わらず、使用前には必ず花びら部分を手で回して動きがスムーズか確認して下さい。

※GLカルチ仕様の場合も同じ調整方法になります。

【製品名】もぐらディスク

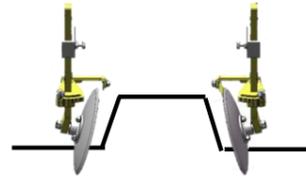


S3カルチ仕様	
北海道型式	都府県型式
H032-1A(1条)	P032-1A(1条)

GLカルチ仕様	
北海道型式	都府県型式
H032-1B(1条)	P032-1B(1条)

使用方法

1畝1条のうねの形削りに使用します。



取付位置

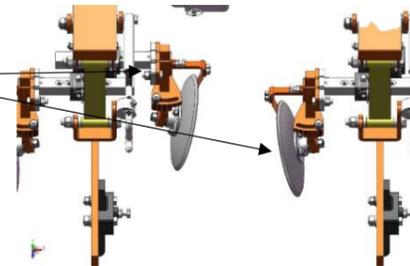
【S3カルチ仕様の場合】

カルチのタイヤの上部分に差し込む場所があるのでそちらにツールバーを差し込みセットします。またはカルチ後方のカルチ取付部ステーに取り付けします。もぐらディスクには左右があります。調整部分の長穴がある方が後ろになりますのでお気をつけ下さい。



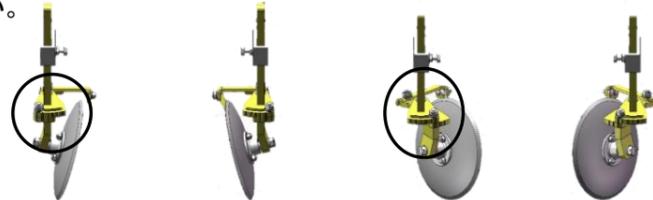
【GLカルチ仕様の場合】
イチョウ刃外し取付します。

取付位置



もぐらディスクの調整方法

畝の肩にディスクが当たるように調整し、うねかたの角度に合わせて長穴の部分で調整して下さい。



注意事項

ベアリング部分に土がつまり回りづらくなる恐れがあります。こまめに確認し土を落として下さい。

部品交換のタイミングはディスクを回す部分にベアリングを使用しているため、使用年数・頻度に関わらず、使用前には必ず、ディスク部分を手で回して動きがスムーズか確認してください。回転が鈍い場合は、ベアリングの交換をおすすめします。

【製品名】草カッター-W



北海道型式	都府県型式
H031-2C(2条)	P031-2C(2条)

使用方法

イチョウ刃を草カッター-Wに変更して使用することで大きな雑草の根を切断していきます。

取付位置

カルチ本体のイチョウ刃を外し草カッター-Wを取り付けします。穴位置は基本的には下の穴になりますが

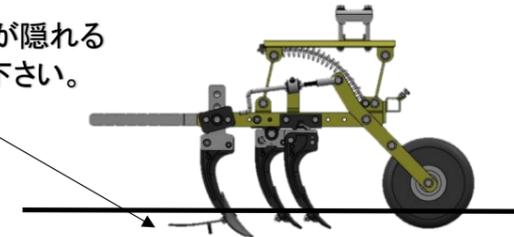
先端の爪を付け替えます



※GLカルチ仕様の場合も同じ取付位置になります。

草カッター-Wの調整方法

草カッター-Wの刃が隠れる
深さに調整して下さい。



※GLカルチ仕様の場合も同じ調整方法になります。

注意事項

草の根を切るということは作物の根を切る恐れもあります。条間が狭い場合や、作物が大きくなってからのご使用はお控えください。

カッターの刃が丸みをおび、切れが悪くなった時に交換をおすすめします。

【製品名】2本爪追加セット



S3カルチ仕様

北海道型式	都府県型式
HTSUME-2	PTSUME-2

GLカルチ仕様

北海道型式	都府県型式
HTSUMEGL-2	PTSUMEGL-2